

活動報告

団体名	いわてNPO 災害支援ネットワーク
活動名	台風 19 号岩手県域ボランティア活動現地サポートの為の事業
活動期間	2019/10/13~2019/12/16
活動の成果	<p>●被災地の住民の方々の支援（ボランティア）活動参加に向けた工夫 台風 19 号は全国広域が被災したためボランティアを含め他県からの支援が薄くなることを想定し、地域住民に積極的に参加いただく支援体制を目指しました。</p> <p>●他機関（団体）と現場で連携することで生まれる効果 県内に複数の一般ボランティア団体、学生ボランティア団体が存在することは認知していましたが、過去の災害において具体的な連携は取れていませんでした。今回工夫した点として、各ボランティア団体が被災地域での活動を円滑に行うためのコーディネートを INDS が担い、必要とされる地域対しボランティアメンバーの専門性を活かす形での現場作業が実現しました。</p> <p>●岩手県における三者連携の活用 平時から連携を進めている岩手県、岩手県社会福祉協議会との情報共有を徹底しました。INDS の各種支援活動に対する理解・信頼につながり、被災市町村の行政、社会福祉協議会との関係構築が円滑に進みました。</p> <p>●INDS 構成団体による多様なノウハウ提供および活用 INDS は災害支援に関する多様なノウハウを習得していますので、地域ごとのニーズや県域共通の課題などへの対応可能な体制を整えています。今回の台風 19 号では、特に各地域の災害ボランティアセンターと連携し現場での直接支援を中心に活動し、同時進行で情報発信等の後方支援、中間的な立場で県、県社協との取りまとめなど多岐にわたる活動を実施しました。</p> <p>●ボランティア参加呼びかけのための新たな連携 各市町村で災害ボランティアセンターが設置された直後、ボランティア不足が深刻な課題となっていました。この課題を受け INDS はテレビ、新聞等マスコミに情報提供を行い、ボランティア参加を誘導する発信に協力いただきました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>寄付者の皆様の想いを岩手県の災害支援のために活用させていただきました。家屋の復旧作業を NPO とボランティア、そして地域の行政・社協が協力し円滑に進めることでできたと同時に、支援者間の連携が促進されるなどの成果が生まれました。今後ともいわて NPO 災害支援ネットワークの活動に対するご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

